



米子富益工場外観（2025年7月竣工）

- 本社所在地：鳥取県米子市
- 事業概要：機械設計・製作工事業、未  
利用資源開発事業、化粧品事業、医療  
材料事業
- 常時使用する従業員  
：63名（2025年12月時点）
- 現在の売上高：11億円（2024年12月期）
- 法人番号：6270002005601
- Web：https://www.kandagiko.com/

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
中山 哉

### ～人々と共に成長～

「ものづくりへの挑戦」と「経営資源を活かす経営」を通して世の中の役に立つ価値を創造します

株式会社カンダ技工は1979年の創業当初から一貫して持ち続けている理念は「役に立つモノ創りを通して喜ばれるサービスを提供する」という創業者の想いから、現在は4つの事業を展開しております。

根底にある事業テーマは「地球環境への感謝と貢献」です。SDGsが注目される以前から、当社では地球資源の100%有効利用を目指し地球環境をテーマに事業を展開してきました。2022年には第1回「とっとりSDGs企業認定事業者」として認定を受けております。

これからも地域に根差した企業として地域とともに歩み、地域の文化を守り、地域の魅力を発信し続け、地域課題の解決や地域経済の活性化に貢献いたします。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

2041年12月期の売上高100億円達成に向け、健康食品の原料加工である未利用資源開発事業やOEM製造に特化した化粧品事業での新規案件の取込み及び取扱量の増加に注力するため、工場の拡張、新規製造施設の開設、保管倉庫、付帯施設（設備）を導入する。協業先・協力会社と強固な信頼関係を更に築き上げる。

また、これまで培ってきた「食」の技術を、「医」の分野へ応用・展開するため、医療材料事業を立ち上げ、年率10%程度の成長を目指す。

### 課題

- ・製造能力の向上のため工場拡張及び保管倉庫、付帯施設（設備）を導入
- ・製造体制強化による人材確保と教育体制の整備
- ・製造、流通等の効率化
- ・GMP、FSSC、HACCP認証等による品質管理体制と応用開発力の強化
- ・新規事業の早期安定化（医療材料事業）
- ・安定的な資金調達を図るため、成長戦略の具現化と健全な財務体制の維持
- ・金融機関との連携を通じて、機動的な設備投資対応できる仕組みづくり

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- ・製造能力向上に向けた既存設備の更新と新規製造施設の開設、保管倉庫・付帯施設の導入
- ・製造能力向上に対応した人材確保・人材開発・教育体制の整備
- ・未利用資源を新たな商品・原料として開発・販売することで、廃棄ロスの削減と収益機会の創出を同時に実現する
- ・多様な専門人材の確保と育成（品質管理/応用開発が中心）
- ・DX化と最新機械の導入により、生産性の向上・属人化業務の削減
- ・協業先・協力会社との連携強化（同業者のM&Aによる規模拡大も含む）
- ・運送費の削減及び内製化を進めるため、流通面（拠点・車両・人材）の強化
- ・賃上げと福利厚生施策の拡充によって人材の定着化を図る

### 実施体制

- ・工場・倉庫の増設を行い、新たな事業分野・製造工程に対応できる設備投資を行う（2025年竣工）
- ・社内業務のDX化、省人化を推し進め、製造体制の効率化を行う
- ・品質管理部門が定期的に製造工程における環境負荷測定を実施し、改善に対するPDCA体制を確立する
- ・女性の管理職登用、外国人労働者の採用など、社内の労務環境を整備し、多様な人材が活躍できる職場環境を実現する
- ・海外向け原料に必要な認証（HALAL等）の取得により、取引拡充を目指す
- ・透明性、納得性のある人事制度（評価制度・賃金制度）を再構築し、社員のやりがいとモチベーション向上

## 売上高100億円実現に向けた具体的な取り組み

株式会社カンダ技工は、昭和54年の創業以降、「食品加工機械の設計製作及び修理」と「未利用資源（魚のうろこ、カニ殻等様々な食品資源）を利用した商品開発及び製造を主とする未利用資源開発事業」に取り組んできました。

産学官連携による技術研究開発、商品開発に積極的に取り組み、例えば魚のうろこからコラーゲンペプチド（海洋性コラーゲン）を効率よく抽出するという新技術を開発、健康食品業界をはじめ各界から高い評価を受けております。

現在は、本社（米子市河崎）、境港工場（境港市竹内団地）、境港西工場（境港市西工業団地）、松江八雲工場（松江市八雲町）、米子富益工場（米子市富益町）の5拠点体制で事業を展開しており、主に本社では機械設計製作、境港工場及び境港西工場では未利用資源開発事業として各種食品原料の開発・製造、松江八雲工場では化粧品の商品コンセプトづくりから開発・製造までトータルで行う化粧品事業、米子富益工場では医薬品・サプリメント関連の医療材料事業（2025年12月操業）を中心に取り組んでいます。

上記の既存事業の強化とその関連事業（新事業）の展開や協業先・協力会社との連携強化（同業者のM&Aによる規模拡大も含む）により、安定的な成長と利益確保を目指していきます。

また、大型設備投資（工場の拡張及び保管倉庫、付帯施設の導入）により、地域の雇用創出に努め、社員やその家族の生活を支える給与待遇・各種福利厚生向上させるとともに、魅力的かつ地域に根差した企業を目指していきます。

